

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和3年12月22日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

「豊かな時間をともに」

いよいよ今年も余すところわずかなりました。さて、園では楽しい行事が連続しました。



12月7日(火)の「クリスマスコンサート」です。大阪城南女子短期大学教授で、音楽界でご活躍の油井宏隆



先生にお越しいただき、美しいピアノ伴奏のもと本格的な歌声(テノール)を聴かせていただきました。みんな驚きのあまりしーんとなって聞き惚れていました。ほんもののすばらしさですね。幼い時からコンサートへの参加マナーを身に付ける機会は貴重です。

感染症防止のため、たんぼぼ組も含めて全園児を二部に分け、二回公演していただきました。

振り返り活動では、「毎日聴きたいぐらいすごかった。」「もう、海外でも歌えるぐらいよかった。」「何故か上からの視線?(笑)のつぶやきがあり、子ども達なりに心に響いたようでした。生演奏や歌声は普段の生活の中でも、経験が少ないと思うので、次年度もぜひ開催していきたいです。保護者の皆さまにも聴いていただく機会を早く作りたくです。



12月8日(水)には餅つきをしました! 蒸されたもち米の美味しそうなおいにお誘われて、「よいしょ! よいしょ!」の大合唱でした。

「誰と食べようかな?」「おかあさんとおとうさんと!」、2個のお餅、どうやって分けるのかしら? 楽しい会話が聞こえてきそうです!



保護者の皆さま、ご家族お揃いで、佳き年をお迎えください。

保育内容の充実

「かがくタイム」を始めました!



本園では、保育時間内ですべての子どもを対象に、「学習あそび」「体育あそび」「英語あそび」を実施しています。今年度から、年中・長児対象に、「かがくタイム」を取り入れて保育内容の充実を図っています。「音」「空気」「光」など身近な存在と興味深く出会い、活動を通してその性質に気付いていく場を準備しました。また発展的学習となるよう、持ち帰りの実験道具もあり、それぞれの関心に応じて家庭で取り組めるようにもしています。

以下、保育者の記録から一部ご紹介しましょう。

年中児

今回は音についてであったが、今回は空気について学んだ。子どもたちは、前回は楽しかったこともあり、今回も期待している様子であった。まず、導入が「この段ボールにはいっぱい入っています。」とのことで、まず保育者から見せてもらった。空気だと知っていたので、「わあ! 本当にいっぱいあります!」と反応すると、子どもたちも「見たい! 何があるの?」と反応があった。見ると、具体物がなかったので、「何もない。」「ちゃんと見えなかったのかもしれない。」とそれぞれ疑問に思っていた様子があった。段ボールを叩くと穴から空気がでた。

振り返り活動では、「☆の穴だったのに、叩いたら丸になったことがびっくりした」「紙コップを飛ばすのが面白かった」などあった。私自身段ボールを叩いて出た空気を感じ、思っていたよりも強く感じびっくりした。ティッシュが浮いたり、吸い込まれたりする現象も面白かった。

年長児

かがくタイムでは、赤や青のめがねを使って何色に見えるか、飛び出すか、ということを行った。子どもはもちろん興奮していたが、私自身もとても面白くはしゃいでしまった。以前と違う姿は、①指示を待てるようになった。

②自分の考えを手を挙げて発言する子どもが増えた。

③話を聞いて、理解できるようになっていた。

成長がとてもよくわかった。また色の変化の不思議を降園するまで友達と話す姿もあった。

実際に園で体験するだけでなく、自宅に持ち帰ってできることが子どもたちも嬉しいようだ。

「次はいつ?」「何するんやろ?」ととても期待が高まっている。教師も子どもと同じように、期待できる気持ちを持ちながら、次回も楽しく参加できればと思う。